

第5回飯綱町子育て世代支援施設建設検討委員会（平成元年8月26日開催）

・出席委員

小林千登世 山口智美 清水由佳 眞喜志亜矢子 増田祐美 松木春菜
太田光洋（長野県立大学健康発達学部こども学科長兼教授）
栗田喜美江（さみずっ子保育園長） 押鐘裕子（保健師）

・欠席委員

長崎夏美

・出席事務局員

桜井教育次長 若林子育て支援係長 事務局保育士

・説明員

（株）アーキプラン3名

開会 10:00

あいさつ

1. 協議事項

- (1) 委員等からの要望事項を反映した修正設計案について
株式会社アーキプラン様より
- (2) 意見交換
- (3) 今後のスケジュールについて

3. その他

閉会 11:35

事務局：挨拶の言葉あり。資料の確認・説明あり。

1. 協議事項

- (1) 委員等からの要望事項を反映した修正設計案について

委員長：挨拶の言葉あり。皆さんの検討課題（イメージ反映シート）を出していただいた意見に基づいて、設計会社のアーキプランさんより代案が出てまいりました。説明を聞いて子どもたちのためにいい案ができればいいなと思います。

アーキプラン：挨拶の言葉あり。修正案は、皆さまから出た意見を検討し、修正した形になっております。配置図につきましては、現地で測量を行い、この測量図に基づいて、正確に樹木、庭の法面、あるいはドアや階段、トイレの位置等は、十分これで検討できると思います。今日は特に2階のワークセンターにつきましては、皆さま方の意見を頂きたいと思っております。前回に比べ修正をした部分を説明させていただきます。

アーキプラン：挨拶の言葉あり。頂いた意見を基に、今の枠の中で判断して、部屋の入れ替えなどでできるというところをまず直しています。その他に、まだ要望の中で、今反映されていないけれどもやっぱり反映したいというのであれば、大きく変えて反映する必要があると思いますが、その必要があるか

どうか、判断していければと思います。配置図の変えた点としては、今回測量によって正しい位置にしました。ブランコ、滑り台の位置を修正しました。アスレチックは工事の中で移設を考えています。アスレチックは今と180度、回転した形でレイアウトしております。まず入り口につきまして、何か所か必要という意見がありましたが、まず右下に現況階段というものがあります。この階段を変えずに、既存を最大限利用していこうということで、この位置で考えていますが、真ん中にしたいということであれば、新たに階段をつくって、入り口にするということも可能です。現状では今の既存の階段を使っていくと考えています。次に、既存の遊具はエントランスの左右にパンダとかカバがありましたが、こちらに移設して、今後も使っていきたいと考えています。右側の芝生の庭は小さい子どもたちが使う砂場や遊具が欲しいというお話がありましたので、仮に砂場を入れています。この他にもご要望によって、こういう遊具を入れたいというものがありましたら、そういったものを入れていきたいと思っております。検討項目として、左側の庭の噴水広場を考えていますけれども、今後の話し合いの中で決めていきたいと思いますが、やはり費用などの関係もありますので、実施設計進んでいく中で検討していければいいと思っています。水場の位置も、足が濡れた後にそのまま土など付かない位置がいいので、デッキの横は、上がコンクリートかゴムチップなどの濡れないものにしまして、すぐ行けるような配置としています。あと、外物置が必要というご意見がありましたけれども、この噴水広場のところに付くように、建物の一部の収納を外から使う形にしまして、そこを外物置にしました。あとは、この公園内にみんなが休憩できるベンチなどが欲しいということで、この木の下に幾つかベンチを設けたいと考えています。それから、滑り台の位置を前回のものだと藤棚に向かっている向きでしたが、それを中央にしてほしいという要望があり、それが滑り台と木などの関係で、前回の位置でできなくなってしまったので、藤棚の上に置きまして、中央に向かうように配置しています。藤棚に蜂が来て危ないのではないかというご意見、日陰は欲しいということで、東屋があったほうがいいというご意見がありました。入り口部分の右下の木は、正確な測量をしたところ、想定と形が違っていたので、エントランスの一部だけが赤色で示したカーブするような形に改修して、トイレに行けるようにしたいと思っています。あとは、丘が以前噴水広場のある場所にあったと思いのますが、木の下に持ってきたほうがいいというご意見がありました。これらも公園の設計段階でご意見いただければいいかなと思っています。配置図は以上です。次にエントランスから玄関を広くしてほしいということで、右側にあった相談室を以前ロッカーがあったところに相談室兼職員休憩室兼ロッカーとし、玄関を広く取って、下足も十分に確保しています。以前エレベーターがあった位置を外物置としていますが、要望の中でエレベーターは要らないのではという意見が多くありましたので、こちらを倉庫としています。多目的

トイレは、部屋の右上にチャイルドキープがほしいということで、こちらに設置しています。それで、階段はエレベーターの代わりに階段昇降機を付けたほうがいいのかという意見があり、メーカーに確認中です。初期費用で200万円ぐらいかかり、ランニングとして年間35万円ぐらいかかってきます。その後も、20年ぐらいで耐用年数が来ます。お金との関係でどうか、後で検討していきたいと思っています。

事務局：エレベーターよりは安いか。

アーキプラン：はい。

委員：エレベーターは幾らですか。

アーキプラン：エレベーターですと約500万。年間50万くらいのメンテナンス料。階段の昇降機を付けたら、階段幅が30センチくらい出っ張ってくるので、もっと広げないといけない。

(2) 意見交換

事務局：人の通るところは狭くなるのか。

アーキプラン：はい。上の託児室というものが、以前休養室でしたが、こちらを託児エリアとして、ふすまを付け孤立した部屋としています。こちらからもトイレに行けるようになっていて、上に手洗いを付けていますので、トイレに入ってこちらで手洗いして部屋に戻ることができます。事務室もカウンターをもう少し付けてほしいということがありましたのでカウンターを付けています。後ろの2つが収納でコピーや書棚を置き、キッチン小さいものでいいというご意見が多かったので、小さくし、その代わりにテーブルの形状を少し変え、キッチンとテーブルの両方として使えるものかどうかと思います。また、ランチルームと託児エリアは、このように低い柵のようなもので区切り、緩く分けることができます。トイレも、親子トイレの中に大人の大と小と、子どものトイレ、また右側のほうにチャイルドキープを付けています。手洗いにつきましては、大人用と子ども用の高さが違うものを2口ずつ付けています。トイレの中は、便器の数を減らしたほうがいいというご意見がありましたので、まず、大人用が1つと、その隣が掃除具流し、子ども用の小が1つと大が2つ。それとオムツ台。隣にオムツ棚があるので、託児に来ている子どもたちのオムツをこちらに置くようになっていました。次に、子育て支援エリアにつきましては、収納が少し少ないというご意見が多かったので収納を広く取り、会議室はやめて全て和室にし、一部をカーテンで授乳コーナーとして使えるようにします。収納が増えた分、少し絵本コーナーが小さくなっています。絵本コーナーが貸し出しを行うのであれば、少しでも入り口に近いほうがいいのではないかという意見がありました。例えば和室と絵本コーナーを逆にすると、少しでも近い位置になると、角が和室として使えるので、和室が2面採光の明るいような場所になります。どちらを優先するか、絵本コーナーか和室か、どちらがいいか迷っていたところです。あとは、ウッドデッキですが、柵を付けたほうがいいのではないかということで、周りに手すりを回

しています。この入り口はもっと全面に開いたほうが良いというご意見もありましたので、相談させていただきたいと思います。次に2階のプランが幾つかできるか検討し、AタイプとBタイプを考えました。主な相違点は3つで、トイレはロッカーを小さくしたので、男女別がAタイプです。Bタイプは、男女一緒。男性は1階も使ってもらおうということで広く女性を取るタイプです。どちらが良いか迷っています。またコミュニティスペースにつきましては、カウンターを設けたほうが1人の方も食べやすいのではないかとということで、南側にカウンター席を設けてあります。事務室もパターンがありますが、事務に常に人がいる状態であれば、Aタイプのような部屋を仕切って相談室はコミュニティスペース側から入るのがいいのではないかとおりましたが、相談に行くときにコミュニティスペースのほうを歩いていくのも少し抵抗があるかなとも思いました。2タイプ、事務のほうからBタイプは入るものですが、こちらとAタイプを2つ考えました。次に、ワークスペースですが、ご要望の中で、手仕事は荷物が多いので、入り口近くにあったほうが良いのではというご意見がありました。そうすると、Aタイプのものを反転するような形でBタイプになりますが、そうすると多目的会議室が外から直接行けないというデメリットがあり、手作業と多目的会議室、どちらが外から入れたほうが良いのか伺いたいと思ったところです。以上が私どもで修正した点ですが、ご意見を頂けたらと思います。それでは、配置図のほうから一つ一つお願いします。園庭（公園）の考え方についてご確認させてください。まず西側の公園、噴水についてご意見を伺います。実は、噴水のご希望をすごく多くの方から頂きました。昨今の子どもの遊び場を見ていると、特にこの猛暑では、本当に水場の人気があり、皆さんの意見もよく分かります。場所的には少し囲まれた、このトイレの北側になりますけれども、日当たりも十分ですし、ここにコンパクトにまとめるのはどうかと考えました。費用はメーカーと相談しているところですが、上水を使う形になるのでコストが心配です。

委員：冬場はどうしますかを。

アーキプラン：冬は堆雪場になります。

委員：今もなっている。

事務局：これはポンプで上げるのか。直接水道管からか。

アーキプラン：常に出すとすると、濾過する装置が必要になります。

委員長：雪がいっぱい積もっても壊れないか。

アーキプラン：大丈夫です。

事務局：ハイウェイオアシスは、地下水を循環で使っているのか。

アーキプラン：そういう可能性もあります。水が常にあるというよりは、使うときだけ流すイメージです。ノズルが土間から3カ所か4カ所くらい吹き上げているという感覚。上水を使うのでしたら、噴き上げた水が真ん中の、いくらか

すり鉢状になっていて、そこから水を集めて、いったんその水をためて、濾過してまた循環でポンプアップするということになります。

委員：飲めるか。

アーキプラン：飲めないです。

委員長：飲んじゃう子どもがいる。メンテも大変では。

アーキプラン：この噴水広場については、今9メートルくらいの直径の部分をコンクリートなりで仕上げ、裸足でこの上を走り回っても噴水にゴミが来ないようにと思っています。

事務局：ここに屋根の雪が落ちて冬場は問題ない。

アーキプラン：はい。皆さんの意見がかなりあったものですから、この位置にしました。もう一つは、長い間のメンテナンスとか予算のこともあって、これが実現できるかどうかというのは、もうちょっと検討しないといけません。ただ、今度の建物の前が緑の広場ということで、できればこっちは今の芝の状態の庭にしておいて、舗装した部分というのは噴水広場。仮に噴水がなくなっても、そこは舗装された広場という形で、ちょっと性格を変えることもいいのではと思います。

太田教授：緑の広場に噴水というのは、あり得ないですか。

アーキプラン：9メートルくらいの範囲を舗装にしなくてはいけないものですから。

委員：噴水広場は円形じゃないと駄目か。

アーキプラン：そういうこともないです。

委員：コスト的にはどうか。

アーキプラン：それは、土間の形を四角にするか丸にするかだから、そんなには変わりないです。

事務局：今回は建物の設計を重点的にお願いしています。外構関係は来年度細かい設計をするので噴水はもう少し先送りでも、猶予はあるということですね。

アーキプラン：はい。

事務局：冬は堆雪場所になるが。除雪で集められた雪は、ゴミが含まれているが、目詰まりしてしまうということは大丈夫か。毎年それで詰まってしまって、結局は使えないということにならないか。

アーキプラン：子どもが滑って転んでもいけないので。いくらか勾配が付いている。9メートルの外周部分は、大体50分の1くらいの緩やかな、目で見ていくらか真ん中に勾配が付いているなという感じで。真ん中の4メートルの部分については、30分の1とか、少し、もうちょっと勾配をきつくして、真ん中に水が集まるようにというふうに考えています。

事務局：噴水を持っている子育て支援センターは他にはないでしょう。コストが大変でしょう。

太田教授：緑の広場のところに、噴水というか、スプリンクラーでも面白い。

委員：小さい子どもたちだけじゃなくて、小学生も使えそう。

アーキプラン：この噴水のことについては、本体からちょっと離れた工事範囲になっているので、今日結論を頂かなくても。可能性を一応提案させていただきますし

た。ご相談ですが、丘をつくったほうがいいのかというご意見もありましたが。丘はあったほうが子どもたちは遊びやすいですか。

太田教授：築山はあったほうがいい。子どもの動きとして、いろんな動きができる。

委員：転がったり、登ったりすることで子どもたちのバランス的にいい。

太田教授：冬は滑れるかもしれない。

委員：お尻でソリ遊びになるかもしれないし。噴水もいいけど。

委員：噴水は2カ月くらいしか遊べない。

委員：それは後から買う備品として。ここを山にする。そのほうが安いのでは。

アーキプラン：丘も、今後やっぱりあったほうがということですね。

委員長：丘はあったほうがいい。

アーキプラン：分かりました。次に、東側の庭の使い方について。今、小さい砂場をつくっていますが、どういう使い方をしていくか。

委員：藤棚の位置に丘があれば、屋根から雪が落ちてくることも心配しなくていい。ソリ遊びとかも楽しめる。

アーキプラン：ブランコの位置を、もう少し木と木の間のほうへ少し南に下げて、今ブランコと書いてある辺りを、少しこんもりさせたらどうかと思います。

太田教授：ブランコは2人用ですね。新しいブランコは必要ですか。

アーキプラン：今の既存のブランコです。既存の遊具を全部移設しようと考えておりました。

太田教授：別のものを置いたほうがいいのかということもあり得るし。小さい子は滑り台とか好きです。でも、あまり大きいとまた危ない。小さい移動できるような滑り台じゃ、物足りないか。砂場は直径4メートルくらいですか。

アーキプラン：こちらは4メートル。今の砂場はもっとずっと大きいです。それを少し、縁を付けて、ゴムチップで。

委員長：芝生の庭に、扉が付いて仕切られているが、何のための仕切りか。

アーキプラン：仕切りは、例えば、託児で来た子どもが、いきなり外に飛び出してしまわないように、この芝生の庭の中であれば安心ということですよ。

委員：保育士2人で子ども7人とかいたら、このくらい入れておきたい。砂場があると託児としてはありがたい。

アーキプラン：小学生の高学年の子どもさんがかなり激しく走り回って、そこに未満児の子どもと一緒に遊ぶというのはちょっと危険な感じがあります。それで未満児は東側の一応フェンスで区切られたところ。こちらには、元気な子どもは行かないというか、入れないように考えています。

委員長：ここの中にも小さい子が遊べる遊具がほしい。

アーキプラン：出入り口に関しては、今の既存の階段を利用する計画ですが、端にある印象もあるので、真ん中にすることも可能です。現状は不便ですか。

委員：階段使っていない。土手を登っている。

委員：階段あるのを知らなかった。

委員：本当に端っこ。一番土手が高くなっているくらいのところに。階段の棒より土がへこんでいるような階段。危ない。みんなが知らない階段。

委員長：必要ないのでは。

アーキプラン：フェンスは必要あるかどうか。すぐに駐車場があるので。

委員長：飛び出して心配だという話があった。あったほうがいい。

委員：そうすると出入り口が必要。出入り口がなければいけないで、そこから出なければ。結局靴を玄関で履かなければいけない、わざわざ…。

委員：公園だけに遊びに来る人が不便でないように。土日とか。

太田教授：緑の広場に遊びに来る小学生も。その柵は、緑の広場側にできるということですね。

アーキプラン：そうです。

太田教授：車が突っ込んでくるかもしれないから、多少段差があるほうに階段があったほうがいいのかも。

アーキプラン：今の位置で、あれば問題ないということですか。フェンスは付けて、そこに入り口を付ける。配置については、確認したいかなと思ったのは今の4点ですけれども、その他に何かありましたら。

委員長：真ん中のほうがいい。防犯上を考えるといかがですか。

アーキプラン：防犯上ということになると、ここからはすぐに行ってしまうので。8割～9割の方は、左の広い部分から出入りになると思います。トイレもありますし、真ん中に階段をつくっても、アスレチックがこれだけの場所を使っていますので、アスレチックを突っ切って広場のほうに行くというのが、難しい。あまり真ん中に付ける必要はないかなと思います。

委員長：分かりました。

事務局：フェンスを真ん中に付けると、子どもが走ってきてブランコが動いているときに、突っ込んでケガする可能性もある。入り口を増やすことも子どもの安全面ではよくない。

委員：この入り口なくていいのでは。

委員長：現況階段もなしでいいか。

一同：なくてもよい。

アーキプラン：次に1階のほうへ移らせてもらいます。検討項目の、1つ目の2階への移動手段は、先ほどお話しがありました階段昇降機の検討を進めていくという形でよろしいですか。エレベーターは、なしの方向で。2番目で、ウッドデッキから庭に出るところですが、この前もウッドデッキについていろいろご意見があって、このような柵を付けて、扉を設けるという形にしました。ご意見を伺いたいと思います。

アーキプラン：このウッドデッキは、屋根のたつぷり掛かった、かなり広めの半屋外空間で、そこには簡易プールを設置するとかできます。ここから庭に出る場合には、ランチスペースの前の、ウッドデッキへいったん横移動して、庭へ降ります。ワンクッションある形です。

委員：段差はあるか。ウッドデッキから庭へ。

アーキプラン：できるだけ段差がないよう擦り付けます。

委員長：庭への段差がなしということだが、逆になくて雨とかは中に入ってくると
いう危険性はないか？

太田教授：柵はあったほうがいいのか。

アーキプラン：柵が開く感覚です。

太田教授：それならば問題ないです。

アーキプラン：次にペレットストーブですが、これはあまり良くないという意見があった
のですが、どうしますか。

太田教授：雰囲気としてはいいですが、安全面とスペースがもったいない。

委員：広さが欲しい。

委員：暖房設備としては、ペレットストーブだけじゃなく、エアコンも付けて、床暖は。

アーキプラン：床暖も、未満児の子ですと大体付けますけれども。そうすると、本当にこ
のペレットストーブは補助暖房というか、子どもたちが火を見る機会をつ
くるというようなイメージで、暖房というよりは、これは飯綱の木を使っ
ていきたいということで入れていきますけれど。要らないですか。

一同：要らない。

アーキプラン：分かりました。次にトイレの数は修正しました。

委員長：この前話題になった、お父さんのトイレは多目的トイレが使えるということ。

委員：親子トイレも使えていい。

アーキプラン：親子トイレの中に男性の小を入れてほしいということで、これは小便器と
大便器と子どもの大便器があります。男性は、玄関ホールの多目的トイレ
を使うこともできるというふうにしたらどうでしょうか。2階に男性トイ
レがない案になった場合は、やっぱりここを使わないと無理だと思います。

委員長：男性が中にまで入ってくるというのは、ちょっと抵抗がある。

太田教授：お父さんが子どもを連れてくるということもあるから。

委員：よくあります。

委員：この和室でオムツを替える人もいる。うんちがあればこっちのトレイのオムツ台に
行くかもしれない。おしっこだけなら、和室とかで替えちゃう。現状遊んでいる場
で替えている。もう一つオムツ台がほしい。

アーキプラン：わかりました。オムツ棚は保育園だとこのように作りますが、託児の場合
は要りますか。

太田教授：要るかな。

委員：コンスタントに託児を利用される方は、「置きオムツ」みたいにしておくことはあ
ります。

委員：荷物は楽になる。

委員：オムツためておくバケツも置きたい。

委員：現状1人2個。このくらいの小さいゴミ箱にビニール袋をかけて入れてはいる。保
育園はこれくらいのバケツを1人1個置いてくれてあるけれども、そんなには要ら
ない。

太田教授：オムツの棚は壁にくっつけて、オムツ台をもうちょっと左に寄せても大丈夫ですか。

アーキプラン：そうすると、子ども用の小便器がもう一つ増やすことができます。

委員：託児はトイレに行く子はほとんどいない。

太田教授：まだ小さくてみんなオムツですね。

委員：保育園に行く前の子がメイン。

委員：水道の辺に、何かあればいいくらい。

委員：ここにオムツ棚はなくてもいいです。

太田教授：例えばここでオムツを替えるときに、外の人も含めて、替えるときにちょっと物を置いておくような棚はあってもいい。

委員：あってもいい。

太田教授：子ども用の小便器、もう一つあったほうが良くないですか。

アーキプラン：全体に左へ移動させて、もう一つできます。

委員長：シャワーはあったか。

アーキプラン：シャワーはないです。

委員：いいと思います。

委員長：シャワーは無くてもいいということで。

アーキプラン：大丈夫ですか。

太田教授：託児室は和室ですか。

委員：和室じゃないほうがいい。食べたり、寝たり。おしっこも漏れると、拭き取りやすいほうがいい。

委員：フローリングで。

事務局：トイレ内に子どもたちの汚れ物を洗う洗濯機のスペースが必要。

アーキプラン：例えば手洗いの位置に洗濯機を置いて、収納を託児側から使えるように切り替えるか、検討します。トイレの中に洗濯機一台。次に、絵本コーナーの位置は、和室と絵本コーナーを逆にするなど、貸出の関係があれば少しでも近くにするといいのではないかと思いましたが。

太田教授：まず、絵本の貸し出しをするかどうかです。

委員：今は町民会館内のプレイルームで読んだりします。

事務局：貸し出しはしないと考えている。

委員：本だけ借りたい人は町民会館に行けばいい。

アーキプラン：先ほどの逆にしたらというのはこういうことで、一番角に12畳の和室を持ってきまして、そうすると和室の北側と東側が2面採光で、結構明るい感じになってくる。それから収納も、今こちらに4畳、こちらに2畳の収納を、ここにまとめて6畳の収納にして、一番この端に絵本を持ってくる。そうすると、かなり壁側取れるので、本棚とかを使うには非常に具合がいい。それから、北側から風を入れる、光を入れるという感じで、今と逆転したらどうかという提案です。

委員：貸し出しありなしにかかわらず、それでもいい。

一同：了解。

太田教授：この和室は、お昼寝もしますね。すごく明るいほうがいいのですか。

事務局：この和室は赤ちゃんスペースをイメージしている。

太田教授：でも寝る子も出てくるかもしれない。そうなれば和室です。ベッド置けばいかがですか。保育園で使われる積み上げられるネットの青いもの。これくらいの高さで、足が4本。ベビーベッドだとスペースを取ります。お昼寝用のベッドだったら重ねて収納に入れておくのも楽だし、軽いからすぐに出して寝かせられるので。それから、絵本は意外と狭いところのほうが、子どもが落ち着いて読むというのがあります。

アーキプラン：そうですね。6畳もあれば結構広いかもしれません。

太田教授：十分です。

アーキプラン：収納はまとまって取れたほうがいいのか、それとも個別に小さくあったほうが使いやすいか、いかがですか。

委員：大きいと中の整理が大変。

委員：和室の中に入らないと収納は開かないということか。

アーキプラン：今の設計はそうです。手前側の支援エリア、和室からもできます。

太田教授：ちょっと壁のパーツが見えないけれど、面としてどう使うか。例えば、和室の収納を右側に寄せてその隣に絵本コーナー。そうしたら、他の壁沿いに収納をつくるというのは可能。高さをどう使うか。絵本コーナーから少し階段を上って、収納の上に子どもが上られるスペースがあるとか。縦の面というか、高さをどう使うかというような工夫もできる。

アーキプラン：レベルの違う遊びスペースということで、先生が言われたように、例えば、この収納を、たっぷりとした天井までの高さではなくて、手前の3畳部分を階段で、あるいはこちらのエリアから階段で上がって、中二階の遊びスペース。そしてこの奥へは、また階段を3段とかで、天井の低い部分になりますけれども、ここに中二階の遊びスペースが取れることはできます。

アーキプラン：その反面、1階の収納の天井は低くなりますが、収納をある程度まとめたほうが、中二階を使うということになれば、合理的です。

委員長：皆さん、中二階の遊びスペースというのは、イメージがつかますか。

太田教授：ロフトのようなものです。

アーキプラン：こちらでイメージをご提示して、考えていきたいと思っています。1階の検討項目としては以上です。他にありますか。

太田教授：託児室の床は、さっき畳じゃないという話がありましたが、出入り口もふすまだという話もありました。和室ならふすまですか。

委員：実質和室じゃない。ふすまじゃなくてもいい。

委員：引き戸のほうがいい。指を挟む事故があった。

委員長：ではこれは引き戸で。一方に4枚全部収納して、必要に応じて順番に出てくるという、さみずっ子がそうだが、便利。

アーキプラン：左側に90センチの壁がありますので、その裏に全部4本の建具をしまうということですか。

太田教授：備品で入れてしまえばいいです。建具でつくってしまうと動かせない。

委員：このロッカーは固定か。

アーキプラン：可動です。

太田教授：収納も全部動くものですね。

アーキプラン：それでは、2階の検討をお願いします。まず男女のトイレを分けるか、一緒にして女性を広くするかです。

太田教授：男性どれくらい利用しますか。

委員：セミナーが入れば、1~2人。分かれていたほうが男性の方は使いやすい。

太田教授：それはお互いにそうですね。分かれてつくるか、1階へ行ってもらうか。

委員：ワークセンターの利用者を増やしていくと思うが、男性も来やすいように、今後のことを考えたら分けておいたほうがいい。

アーキプラン：分かりました。次に事務室と相談室の配置ですが、使い方をお聞きしたいです。Aタイプの場合、相談する方は皆さんが休んでいるコミュニティースペースのほうから入っていただく。事務の方は、事務室のすぐ隣の引き戸を引いて、相談室に入っていただく。この場合は、事務所を完全にドアで区切られた形。パソコンの管理などもあるので、一応事務所を1つの部屋として独立させています。それに対してBタイプのほうは、事務所をかなりオープンにし、受付カウンターを過ぎ事務机の後ろを通過して、相談室に入っていただく。それは相談する方が、コミュニティースペースから入ることに対して、ちょっと入りにくさがあるかなということを考えました。

太田教授：どちらからも入れますね。

委員：事務室には入れないほうがいい。

事務局：ママさんの相談のほか、企業さんもおいでになるので、コミュニティースペースのほうから入ったほうがいい。

アーキプラン：わかりました。次はワークエリア内の配置ですが、手仕事の部屋を外から入りやすくするか、多目的会議室を外から入りやすくするか、どちらがよろしいですか。AとBは、まるっきり左右反転させているだけです。

委員長：AとBは左右を反転。個室の右側のほうは、採光は明るいということか。

アーキプラン：こちらは屋根が来てしまうので、採光はほとんど同じ環境です。

委員：会議があるとき、ワークスペースでお仕事をしている人の隣を通過して会議室に行くかということか。外から、ワークスペースで仕事している人のところを通らずに、こういう会議に出席するということか。

委員：ワークスペースで仕事をしている人がいるのに、会議で大勢来られると集中できない。

委員：外から会議室に入れたほうがいい。

太田教授：会議室とワークスペースの仕切りというのは、パーティションですか。

アーキプラン：はい。建具である程度遮音性がないとまずいので。ご相談ですが、パーティションにするか、もう少し建築で最初からつくってしまうかということも、音の問題があるというご意見もあり、どうしても少し音はしてしまう

ので、可動のものにするか、しっかりつくってしまうかも、伺いたいです。コスト的にはパーティションは結構高いです。固定式は、両方の壁の間に軽量テクスというペラペラの鉄骨を立てて、両側に石こうボードを貼ってクロスで仕上げる。その中にグラスウールを入れれば本当に遮音効果が高く、費用的にはずっと安いです。そして音の対応も完璧にできる。しかし、パーティションと違ってその壁を移動することになると、全部壊さなければいけません。一長一短です。この壁の移動が、一度やったら5年10年くらいは変わらないということであれば、パーティションじゃなくて壁にしていったほうが完璧と思います。

事務局：壁のほうがいいのでは。

太田教授：壁のほうがいいかもしれないです。ここを開放的に使うことがなければ。

事務局：1階の相談室が狭くなった分、2階を使って相談することもあるかもしれません。周りの人に聞かれたくない相談もあるでしょう。壁で遮音を持たせてもらったほうがいい。

委員：話し合いもできるようにしておけばいい。

委員：使っていなかったら、自分でパソコンを持ってきた人もできる。

委員：柔軟に使えます。

委員：多目的機能会議室は何畳くらいか。

アーキプラン：17.5畳です。

太田教授：ワークスペースはどれくらいですか。

アーキプラン：約30畳です。

太田教授：Aタイプですね。会議室に直接は入れるほうがいいという形。

アーキプラン：今の多目的の会議室の広さが17.5畳。現在この大きさが30畳ということで、約3分の2になり、これだと約15人の会議まではこのレイアウトで可能です。それ以上の人数の会議をやるとなると、もう少し広くしておかないとできない。

委員：話し合いの場だったらいいかもしれないが、プロジェクターを使用して大きな画面を見ながらやるもの、この図面だと5席分席。パソコンを各自1人置きながらセミナーを受けると手狭。町民会館の視聴覚室があるので、結構大人数のセミナーのときは既存の施設を使っていてもいい。

アーキプラン：レイアウトは、例えば、手仕事は絶対に使うということであれば、この静かな場所を手仕事にして、個別ブースを少し減らす。そうしますと、多目的会議室は横目いっぱい使うことができます。

委員：スカイプで話したりします。静かなほうがいい。

事務局：倉庫を減らして、多目的にするのは。

アーキプラン：机を倉庫にしまって、広く何も無い状態で使いたいということはないですか。そのための倉庫という、机、椅子を収納する。

委員長：清掃用具を置いておくところも必要。

太田教授：テーブル、椅子を入れるとなると、そこは必要です。

委員：倉庫の場所を会議室にするのはどうか。

委員：倉庫の場所を手作業にするのはどうか。

委員：倉庫を収納してしまうのはどうか。

委員：25人でも対応できるように机を置いておくというのは。

太田教授：例えば、机をしまって椅子だけでセミナーもできる。仕舞う場所が困らないように。

委員：企業さんから預かったアンケートを集計していく仕事もある。鍵付きで置いておくことが必要。

事務局：大工仕事の造作棚さえあれば、狭くてもいいと思います。大きな物を入れることはまずない。

アーキプラン：この倉庫を手仕事の部屋という形はいかがですか。

委員：手作業の人はこれから増えるかもしれない。

委員：靴下の検品のような仕事はカサカサ音がします。

委員：個室を何カ所かつくって、手作業もできるユーティリティなスペースがあってもいい。

太田教授：個室の中に棚や収納があればいいですか。

アーキプラン：手作業だけのスペースじゃなくて、個室にして個室でも使えるし手作業でも使える。

太田教授：手作業は2人向き合いになっていますが、1人でやるものですね。2人入れなきゃいけないというのがなければ、個室でいいですね。

アーキプラン：倉庫と手作業、兼用ということですか。棚だけつくっておくこしにします。以上、今日決めたいと思っていたところはお聞きすることができました。

(3) 今後のスケジュールについて

事務局：お諮りします。アーキプランさんには本日の意見をまとめて反映してもらいますが、後の調整は私どもも任せていただき、最終的に詰めて、できたものを皆さまにご報告することによってよろしいですか。

太田教授：側面から見た図面が見たいです。例えば窓の下に棚が付くとか。どんな配置になるか。今の個室に棚や収納を考えると、大体どんなイメージになるか分かれば皆さんいいと思う

アーキプラン：それは、実施設計をある程度進めていく中で確認をしていただくことができます。それと2階のワークセンターのプランは、基本的にはAタイプを踏襲していく形になると思うのですが、ここで、ワークスペースの中の静かなブース、グループのブースの分け方がこれでいいかどうかの検討を後日お願いしたいと思います。ありがとうございました。

3. その他 なし

委員長：前回からの皆さんの意見をまとめていただいた上に、うまくまとめていただいたと思います。ありがとうございました。（閉会のあいさつの言葉あり）

閉会